



安心救急ネット京都通信

安心救急ネット京都は、AEDの設置促進と応急手当の普及啓発を推進するネットワークです。

AEDを点検してください！



いざという時に、AEDがきちんと使えるように日頃から点検しましょう。バッテリーや部品などは、正常に働く期間が決まっています。設置してから年月が経過している場合には、使用期限が切れていないか確認しましょう。

☑ 点検のポイントは2つ

□ インジケータの確認

AEDには、正常に動くかどうかを示すためのインジケータランプや画面が付いています。点検する際は、インジケータの表示を確認し、記録しておきましょう。

□ 消耗品の使用期限の確認と交換

電極パッドやバッテリーには使用期限や寿命があります。これらの消耗品の交換時期が分かるよう製造・販売会社から提供される表示ラベルを付けましょう。
表示ラベルに従い、使用期限が来たら交換しましょう。

AEDの「成人モード」と「小児モード」どっちを使う？

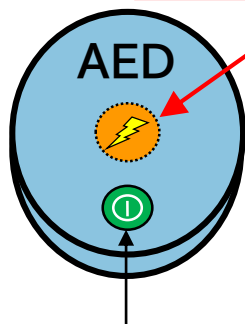
心肺蘇生法	AEDの使用モード
成人 約16歳以上	成人モード 小学生以上
小児 約16歳未満 1歳以上	
乳児 1歳未満	小児モード 未就学児（約6歳まで）



- ・ AEDは小児や乳児にも使用できます。
- ・ 未就学児にAEDを使用する場合は、小児用電極パッド（小児モード）を使用します。無い場合は、成人用電極パッド（成人モード）で代用できます。
- ・ 未就学児以外に小児用電極パッド（小児モード）を使用してはいけません。

オートショックAEDについて

オートショックAEDには、**ショックボタンがありません。**



電源ボタン

オートショックAEDとは、ショックボタンが無く、AEDが除細動ショックを必要と判断した場合に、自動的に除細動ショックを実施するAEDで、操作上の相違点は下表のとおりです。

ショックボタンのあるAED	オートショックAED
1. 患者の胸部に電極パッドを貼付すると心電図が自動解析され、除細動の要否が判断される。	1. 患者の胸部に電極パッドを貼付すると心電図が自動解析され、除細動の要否が判断される。
2. 除細動が必要と判断された場合には、患者から離れるよう音声ガイドが流れ、ショックボタンを押すよう音声ガイドが流れる。	2. 除細動が必要と判断された場合には、患者から離れるよう音声ガイドが流れ、 カウントダウン(例:スリー、ツー、ワン)又はブザーの後に、除細動ショックが実施される。
3. 患者に接触している人がいないことを確認した後、救助者がショックボタンを押すことによって、除細動ショックが実施される。	AEDを操作するときは、音声ガイドをしっかり聞きましょう！